

法学類

よりよい社会実現のために法的・政策的な観点から複雑な問題の解決をはかり、社会に貢献する。

自発的・意欲的に課題発見と解決に挑む。

高度に専門化・多様化した現代社会。複雑に絡み合った問題の解決のためには、社会に対する幅広い関心をベースに自発的かつ意欲的に課題発見に挑み、その解決に必要な知識と能力を身につけることが不可欠です。

現実社会のダイナミズムの中で生かせる法的思考を。

「法学類」では、行政・公共部門の人材を育成する「公共法政策コース」、企業法務を担う人材を育成する「企業関係法コース」、法学関連の高度な専門的職業人や研究者を育成する「総合法学コース」の3つのコースを設け、現実社会のダイナミズムの中で機能する法的な知識や手法の習得を目指します。

学類の理念・目標

「法学類」の目標は、現代社会に対して幅広い関心を持ち、より良い社会の実現のために法的・政策的な観点から問題の解決策を導き出せる人材を育成することです。こうした目標のもと、法学や政治学を体系的に学ぶことのできるカリキュラムが編成されています。「法学類」は、公務員、企業人、団体職員、研究者、法曹関係者など、社会に貢献できる多様な人材を送り出してきた法学部の実績を受け継ぎ、さらに発展させます。

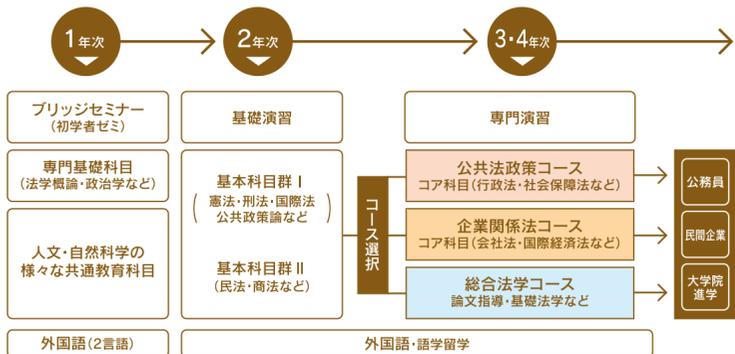
教育目標

- 現実の社会に潜む課題に、法的・政策的な観点から対応できる能力を育成することを目指します。
- 現代社会のルールとその適用、公共的課題に取り組むための総合的判断力を身につけることを目指します。
- 現実の社会と学問の間をつなぎ、学生が将来の進路設計に向けて準備をする機会を提供することを目指します。

教育内容

- 現実の社会に潜む課題に、法的・政策的な観点から対応できる能力を育成することを目指して、相互に緊密な関係のある法学、政治・政策学の各専門領域を、基本科目からコア科目へと体系的に履修できるカリキュラムを設定しています。
- 少人数のゼミ(演習)形式の授業科目を多数設定し、教員・学生相互の自由・活発な議論を通じて専門的知識を深め、現代社会のルールとその適用、公共的課題に取り組むための総合的判断力を身につけることができます。
- インターンシップや実務経験者による授業を通じて、現実の社会と学問の間を往復するとともに、学生が将来の進路設計に向けて準備をする機会を提供していきます。

法学類フローチャート



主な就職先(順不同)

民間企業	公官庁		
日本マクドナルド㈱	国の機関		
㈱ジー・ユー	都道府県		
日清オイログループ㈱	市町村		
バイエル薬品㈱	石川県	金沢市	岐阜市
東邦ゴム工業㈱(東邦ゴム工業グループ)	富山県	かほく市	関市
大和ハウス工業㈱	福井県	富山市	前橋市
YKK㈱	新潟県	魚津市	名古屋
理研産業㈱	長野県	福井市	志摩市
浜松ホトニクス㈱	滋賀県	越前市	宝達志水町
㈱ニプロ	愛知県		
ミナト医科学㈱	静岡県		
野村證券㈱	群馬県		
三谷セキサン㈱	長野県		
㈱富士通北陸システムズ	静岡県		
北国新聞社	秋田県		
㈱北日本新聞社			
テレビ埼玉			
ヤマト運輸㈱			
日本通運㈱			
西日本旅客鉄道㈱			



KANAZAWA UNIVERSITY SCHOOL OF LAW 2014
 金沢大学人間社会学域 法学類
 〒920-1192 石川県金沢市角間町 TEL.076-264-5456(法・経済学務係)
 URL: <http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/>



金沢大学法学類月報
 法学類では、最近のトピックやコラム、エッセイなどを通して法学類の今をお伝えする金沢大学法学類月報を発行しています。最新号やバックナンバーはホームページからご覧いただけます。

【法学類教員一覧】

足立英彦 教授 (法理学)	山崎友也 准教授 (憲法)
青野 透 教授 (法思想史)	長内祐樹 准教授 (行政法)
丸本由美子 准教授 (日本法制史)	平川英子 准教授 (税務行政法・国際租税法)
櫻井利夫 教授 (西洋法制史)	稲角光恵 教授 (国際法)
中村正人 教授 (東洋法制史)	永井善之 教授 (刑法)
東川浩二 教授 (外国法)	大貝 葵 准教授 (刑事訴訟法)

合田篤子 准教授 (民法)	木村高宏 准教授 (公共政策論)
高 秀成 准教授 (民法)	西村 茂 教授 (政治社会学)
村上 裕 准教授 (商法)	西岡 晋 教授 (政策過程論)
永江 亘 准教授 (商法)	岡田 浩 教授 (投票行動論)
福本知行 准教授 (民事訴訟法)	仲正昌樹 教授 (政治思想史)
羽賀由利子 准教授 (国際私法・国際取引法)	山本 竜 大 准教授 (政治コミュニケーション論)
齊藤高広 教授 (経済法)	
大友信秀 教授 (知的財産法)	

山崎友也 准教授 (憲法)	合田篤子 准教授 (民法)
長内祐樹 准教授 (行政法)	高 秀成 准教授 (民法)
平川英子 准教授 (税務行政法・国際租税法)	村上 裕 准教授 (商法)
稲角光恵 教授 (国際法)	永江 亘 准教授 (商法)
永井善之 教授 (刑法)	福本知行 准教授 (民事訴訟法)
大貝 葵 准教授 (刑事訴訟法)	羽賀由利子 准教授 (国際私法・国際取引法)
名古屋道功 教授 (労働法)	齊藤高広 教授 (経済法)
石田道彦 教授 (社会保障法)	大友信秀 教授 (知的財産法)

法学類生の出身地(2014年度入学者)

北海道・東北	9人 (5%)
関東・甲信越	24人 (14%)
北陸	85人 (49%)
東海	48人 (27%)
近畿	8人 (4%)
中国・四国・九州・沖縄	2人 (1%)



金沢大学 法学類

KANAZAWA UNIVERSITY SCHOOL OF LAW

地域の安全を守る警察官や、まちづくりに関わる公務員、まちに新しい建物をつくる建築デザイナーや大工さん、医療、介護に関わるお医者さんやケアマネージャー、いろんな会社や家庭、近所付き合いのなかでも、さまざまな場面に法学が関わっています。

法学の知識、考え方が必要とされている場面はたくさんあります。

奥が深く広い法学の世界へようこそ



法学類が求める人材

- 大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- 社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- 論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史の経緯をふまえて、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

金沢大学法学類アドミッションポリシーより抜粋

学類長挨拶



金沢大学法学類長 石田 道彦

大学で教えられる法学の講義については、大教室で難解な言語を用いて行われており、近寄りたいたいイメージを持たれるかもしれません。しかしながら、社会が大きく変動し、新たな課題がつきつぎと生じている今日、法学、政治学を学んだ人が社会で必要とされる機会がますます増えていくのではないかと思います。

その理由のひとつは、法学が、非常に息の長い、歴史のある学問であるからです。紀元前300年ごろには、現在の民法のもとになるローマ法というものが存在していたといわれています。またヨーロッパの大学では、12世紀ごろから医学、神学とともに、法学が教えられるようになったといわれています。

このような長い歴史を通じて、法学では、考え方や立場の異なる人たちがお互いの立場を尊重し、秩序ある社会の中で生きていくためにどのようなルールをつければよいか、ということが考えられてきました。

法学類の講義で使用される分厚い六法全書の中には、多くの先人たちの知恵が詰まっています。長い時間をかけて考えられた法的な議論の進め方や紛争解決の方法は、これからの社会において新たな問題が生じた時に、必要とされる問題解決のあり方や、そのてがかりを提供してくれるものだと考えます。そして、このような意味での法学は、各分野に精通した教員と教育設備をもった大学で4年という時間をかけて学ぶことで意味のあるものとなります。

金沢大学法学類は「伝統ある国立大学法学部」として強固な教育基盤を有しており、教育と研究に意欲のあるスタッフがそろっています。皆さんも金沢大学法学類と一緒に学んでみませんか。

1・2年次 共通プログラム

幅広い教養と語学力を身に付ける

幅広い教養を身に付けるため、法学・政治学以外の人文・自然科学などの科目を学ぶとともに、法学政治学研究にも必要となる語学力(英語・ドイツ語・フランス語など)の基礎をしっかりと学びます。

基礎的な専門科目を修得する

コース選択後の専門科目(コア科目)の学修を確実なものとするために、憲法・民法・政治学といった基礎的な専門科目(専門基礎科目・基本科目)をしっかりと学びます。

公共法 政策 コース

行政・公共部門で活躍できる人材の育成

「公共法政策コース」では、法律と行政・社会の関係について理解し、高度に専門化した行政・公共部門で活躍できる人材を育成するため、主として行政活動において重要な法律や制度、また政策形成のプロセスについて学んでいます。

法学と政治・政策学を体系的・有機的に学ぶ

社会の公的枠組みを形成している憲法や行政法といった法分野の理解を深めるとともに、政策形成のプロセスを扱う公共政策論や政策過程論、複雑な行政任務に対応するために必要な隣接分野への理解も深めていきます。

卒業後の進路 ●国家公務員(総合職・一般職、国税専門官等) ●公共団体職員/NPO・NGO職員 ●地方公務員(県庁・市役所・警察官等) ●マスコミ/大学院進学など

3・4年次

企業 関係法 コース

企業の経済活動の法的な基本ルールを理解する

「企業関係法コース」は、民法や商法など企業の経済活動の基本ルールを定めた法律や、企業活動から生じる法的問題についての理解を深め、企業で活躍できる人材の育成、とりわけ企業法務を担う人材の育成を目指しています。

企業活動最前線の諸問題を法的にとらえる

企業の経済活動にかかわる基本ルールの理解を前提にして、現代の企業活動の最前線において生じる問題を扱う知的財産法や倒産法などの分野、あるいは企業活動の国際化にともなう国際取引法や国際私法などの分野についても学びます。

卒業後の進路 ●民間企業(製造業・金融・マスコミ・商社など) ●NPO・NGO職員 ●大学院進学など

3・4年次

総合 法学 コース

大学院進学を視野に入れたコース

2004年に法科大学院(ロースクール)が設立されて以降、さらに高度な法学に関する専門的知識と問題解決能力を修得するために、大学院への進学を希望する学生が増加しています。「総合法学コース」はこうした学生のニーズに応えるコースです。

法的素養を学び、さらに高度な専門的能力の修得へ

学士課程の段階では、「法学」の体系や法の理念・歴史など基本分野について幅広く学び、自ら適切な法的判断を下せる思考能力の修得を目指します。高度な専門的職業人や研究者をめざす学生にとっては、このような能力を学士課程の段階で身につけておくことが、大学院における研究の基礎になります。

卒業後の進路 ●法科大学院を経て(裁判官・弁護士・検察官) ●法学系大学院(修士・博士課程)を経て(司法書士や裁判所事務官など高度な法律知識を必要とする職業・研究者など)

3・4年次

法学類生の声—金沢大学で体験できる様々なプログラムについて—

海外短期語学研修について

僕は昨年の夏、ドイツで約1ヶ月間の短期語学研修に参加してきました。この1ヶ月は、今でも鮮明に思い出せるほど充実した時間でした。やはり日本とドイツでは、食生活・文化・環境・人の性格などが全く違っていました。そのような環境に触られたことは大変貴重な経験でした。自分の気持ちをきちんと伝えないと何もわかってくれないのは、もどかしくて悔しかったですが、そんな経験ができるのも海外だからでしょう。もちろん、楽しい思い出ばかりなので後悔はありませんでした。



[3年生] 藤井 裕太

社会人になってから、休暇を取って1ヶ月ほど海外で語学の力をつけようと思っても、実行するのはなかなか難しいのではないのでしょうか。行くなら大学生の間です。

語学研修を受けながら海外で経験したことは、いつか必ずどこかで役に立ちます。行かずに後悔するのなら、行って後悔した方がましです。行った人にしか分からない、その国の良さを自分で感じ取ってきてください。

*金沢大学では、海外短期語学研修の修了者に所定の単位が認定されます(詳細についてはホームページをご覧ください)

●海外短期語学研修が実施される大学(2014年現在)
エディンバラ大学(イギリス)、ワシントン大学(アメリカ)、モナシオ大学(オーストラリア)、
ユークンレッジ(カナダ)、ケンブリッジ大学(イギリス)、レーゲンズブルク大学(ドイツ)、
北京語言大学(中国)、カールアン大学(フランス)など

インターンシップについて

私は、金沢市内の法律事務所1週間のインターンシップに参加させていただきました。インターンシップでは、法律相談や打ち合わせの会議への同席や、事務所の先生が担当されている事件に関する裁判の傍聴、不動産明渡し断行の現場の見学をさせてもらい、弁護士の方の先生の仕事の様子を見ることができました。



[4年生] 鹿橋 美樹

インターンシップを通して、普段の授業で習っている内容が実務において活かされている現場をみる事ができたことは、とても貴重な経験になりました。とくに、弁護士実務に関する様々な資料や、実際に訴訟手続きが進行していく様子はとても興味深いものでした。

この1週間のインターンシップを経て、弁護士が法律のプロフェッショナルであるということはもちろん、依頼者の利益を守るために最善を尽くして仕事をしているということを実感しました。

●インターンシップ受け入れ先(過去の実績)
法律事務所 石川県庁 JICA北陸
司法書士事務所 三島興行 北國銀行
行政書士事務所 福井興行 岐阜三豊自動車販売
アイ・オー・データ機器 金沢市役所 C.A.P
朝日新聞社金沢総局 富山市役所 株式会社浅田屋 など多数
中日新聞北陸本社 和歌山県経営者協会

ゼミ紹介

国際私法・国際取引法ゼミ

私たちのゼミには4回生が6名、3回生が5名所属しており、少人数で活動しています。活動内容としては、国際私法の判例についての評釈を作ったり、各分野の論点をまとめたりして、個人で発表を行っています。そのため、国際私法の知識が身につくことはもちろん、プレゼン能力の向上にも繋がっています。その他にも、英語の実践にも力を入れており、その例として英語での論文の執筆やスピーチが挙げられます。伝えたい内容を多くの視点から検討し、平易で分かりやすい表現を模索する良い機会となっています。また、他大学との合同ゼミにも取り組んでいます。昨年は文化財に関するテーマで各グループが英語で発表し議論を行いました。ゼミの雰囲気としては、少人数で活動しているため、発表の時は適度な緊張感を保ちつつ、質問などの発言はしやすい雰囲気です。ゼミ中は笑いが絶えず、活発で賑やかな雰囲気だと思います。



[4年生] 岡田 幸恵



[3年生] 安田 友

税財政法ゼミ

私たちのゼミでは、学生が自身の興味のある税財政法分野についてグループで発表を行い、ゼミ全体で国や地方公共団体の税財政について理解を深めています。税財政法は、私たちの日常生活と密接に関係しているだけではなく、憲法や民法、行政法など他の法分野にも関連しているため、判例の検討を行うにあたっては、これまでに講義で得た知識を基に様々な観点から意見することができます。また、必要に応じて先生の助言があります。ゼミは、先生を含めて多くの意見に触れることで自分の知識を深めることができる場であり、その点にやりがいを感じる事ができると思います。



[3年生] 吉野 伸彦

学生が送るキャンパスライフ紹介!

私の1DAY Campus Life



総合法学コース[3年生] 夢田 くる美

授業課題の検討、予習・復習

サークルメンバーと夕食、打ち合わせ

模擬裁判会のサークル活動

1日のスケジュール	
7:30	起床、仕度、朝食
8:30	学校到着
8:45~10:15	会社法 第2部
10:30~12:00	友人たちとカフェで談笑
12:00~12:45	大学の食堂で昼食
13:00~14:30	民法 第3部
14:45~18:00	友人たちと授業課題の検討、予習・復習
18:15~19:30	模擬裁判会サークル活動
20:00~21:30	模擬裁判会のサークルメンバーと夕食、打ち合わせ
22:00~22:45	帰宅、明日の準備、予定のチェック
22:45	就寝

一週間の授業スケジュール					
	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		刑事訴訟法		会社法第2部	
2	会社法第2部	刑事訴訟法	国際法第2部		
3				民法第3部	
4	国際法第2部	法医学	民法第3部		
5			刑事訴訟法ゼミ		
6				模擬裁判サークル	

法学類公認サークルの紹介

金沢ディベートサークル

私たちはディベートという議論方法を用いて、論理的な文章作成能力・議論のスキルといった能力を伸ばすことを目的として活動しています。ディベートとはある論題についてその是非を議論するもので、幅広い分野を対象に議論を行っています。毎年、全国の大学ディベート大会に出場しており、数々の受賞歴があります。

URL: <http://hokuriku-mun.org/>

模擬裁判会

模擬裁判会は、自分達で裁判を作り、演じるサークルです。そのプロセスの中で社会問題、身近な法律問題を学んでいきます。また、一般の方々と判決についてディスカッションをするなど、裁判を通して普段身近に感じることのない物事について自分の考えを深めることができます。ぜひ私たちの裁判判を見に来て下さい。

URL: <http://houyukai.fc2web.com/1/whatis.htm>

地域ブランディング研究会

地域ブランディング研究会は、ブランド戦略・販売戦略の研究、実践によって石川県のさらなる活性化を目指し活動しています。法学類だけでなく、文理問わず様々な学部生によって構成されています。これまで、石川県庁や石川テレビと共同で、多数にわたるプロジェクトに携わり、地域の魅力を探求し発信しています。

URL: <http://kanazawa-hoso.jimdo.com>

模擬国連北陸支部

模擬国連の活動内容は各自が各国の大使に扮し、実際の国連会議の形式に沿って会議を進行することで、それにより体感的に国際問題について知識を深めることや、プレゼンテーション能力やスピーチ能力なども養うことができます。

URL: <http://hokuriku-mun.org/>

金沢法友会

金沢法友会では、法教育の研究と実践、岡山大学との合同ゼミなどを行っています。合同ゼミでは他大学との交流から自分たちのスキルアップを図り、法的な考え方を学んでいます。当サークルでは、各種資格取得を目指す学生が集まっているので、各自の目標に向けたサポートも行っています。

URL: <http://kanazawa-hoso.jimdo.com>

法律相談所

私たちは、日頃の学業の授業やこのサークルでの勉強を通して学んだことを生かし、一般の方々の法律相談を受けています。この相談を通して実際に起きている法律問題にしっかりと触れることができ、教科書だけでは学べない「生きた法律」を学ぶことができます。

URL: <http://kanazawa-hoso.jimdo.com>

Circle information

法学類 Q&A

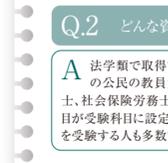
疑問・質問に 学生たちが答えます!



3年生

Q.1 専門科目以外にどんなことを勉強するんですか?

A 法学類では、他学類の教員が提供する自然科学・人文科学といった様々な共通教育科目や語学を36単位以上履修することが、卒業要件になります。希望すれば、他学類で開講される科目を22単位前後(コース別)履修することができます。



3年生

Q.2 どんな資格が得られますか?

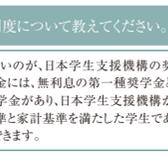
A 法学類で取得できる資格は、中学校の社会、高校の公民の教員免許です。また、司法書士、行政書士、社会保険労務士などの資格試験には、法学系の科目が受験科目に設定されているため、これらの資格試験を受験する人も多数います。



4年生

Q.3 将来公務員になりたいのですが…

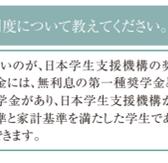
A 法学類の卒業生には、特に地方公務員(県庁・市役所)や国家公務員II種(国家公務員一般職)の合格者が多いです。金沢大学では、公務員志望の学生のために、生協と協力して「公務員対策講座」も開講されています。



3年生

Q.4 将来法曹(弁護士・検察官・裁判官)になりたいのですが…

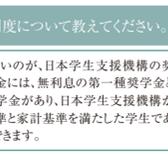
A 将来法曹になりたい人は、大学卒業後、ロースクール(法務研究科)に勉強し、その後、司法試験に合格しなければなりません。金沢大学には、北陸唯一のロースクールもあり、ロースクール進学希望同士と一緒に勉強しています。



3年生

Q.5 奨学金制度について教えてください。

A 最も貸与数の多いのが、日本学生支援機構の奨学金です。奨学金には、無利息の第一種奨学金と利子つきの第二種奨学金があり、日本学生支援機構が定める一定の学力水準と家計基準を満たした学生であれば、申請することができます。



3年生